
多島海世界の条件

いま起きている基調変化（4つの世界モデル）を捉え、
これからの世界をつくるための概念と用語群を見渡すプログラムです。

今日の地殻変動は、一方では自然環境と人口動態の変化から生まれ、他方では技術と政治から生まれています。それらが連動するなかで、社会や経済、組織、知のあり方が変わり、文明を支えてきた既存の諸前提も組み替えを迫られています。そこに、これからの *Business*、*Initiative*、*Worldmaking* を進めるための新たな条件が現れています。

ここではそうした変化を、(i) 一つの中心へ統合する伝統的な「帝国」、(ii) 分散型の統御形態である〈帝国〉、(iii) 互いに孤立する「孤島」、そして (iv) 多数多様な存在が、それぞれの差異と自律を失うことなく関係する「多島海」という4つの世界モデルとして取り上げます。

本講は、ビジネスの未来、人間行動論、文明社会論を横断して構成されています。ビジネス／価値創造、人間の判断と行動、文明社会の変化——。いずれの関心からでもご参加いただけます。

1. こうした方へ

- ・ビジネスや社会をめぐる起きている変化を、従来の用語や枠組みでは十分に捉えられないと感じている方
- ・仕事、事業、プロジェクトを進めるなかで、メンバーと共有できる新しい概念や枠組みを必要としている方
- ・過去の延長から未来を見るだけでなく、その大小を問わず、世界のなかへ新たな始まりを持ち込みたい方
- ・文字や文化、絵画や音楽など、人間の表現に関心のある方

2. このプログラムで扱うこと

これからを捉えるための見方と、判断の前提となる概念を扱います。

たとえば、次のような問いに触れます：

- ・人工知能や技術の発達は、業務効率にとどまらず、仕事や事業の前提をどう変えているのか
- ・これまで当然とされてきた価値創造や成長、組織運営の前提は、今後も有効なのか
- ・社会、文明、生命を別々の領域として見るのではなく、その相互作用をどのように捉えることができるか

3. 参加者に何が残るか

- i) 変化の先を見通すための概念
- ii) メンバーと共有できる用語群
- iii) 事業、プロジェクト、場所の再生、社会変革を進めるための判断基準
- iv) 自分とは異なる領域から、未来や変化を考える参加者との接点

4. 形式／参加の仕方

全10回

会場参加＋オンライン参加

各回ごとの参加が可能

日程・各回テーマは、次項にてご案内します

- 各回で扱う内容は連なっていますが、初回から通して参加することも、関心のある回から入ることもできます。
(ただし全10回の参加を推奨)

5. 結び

これから何を創るのか。

その前に、いま何を見ているのか。

自分は、チームは、組織は、ステイクホルダーは、
どのことばや記号で考えているのか。

そこから次の判断と展開が生まれます。

多島海世界の条件

— The Art and Practice of Worldmaking —

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 0 1 | 2026 年 9 月 10 日 (木) 19:00 ~ 20:30
「イノベーション」をめぐる神話
— AI・計算基盤革命・再人間化 — | 0 6 | 2027 年 2 月 25 日 (木) 19:00 ~ 20:30
「競争神話」と、その陥し穴
— 脱競争論の系譜 — |
| 0 2 | 2026 年 10 月 8 日 (木) 19:00 ~ 20:30
ポスト生活者をめぐる 7 つのトレンド
— Egonomics (自己中心経済) 以後の諸動向 — | 0 7 | 2027 年 3 月 18 日 (木) 19:00 ~ 20:30
「リーダー・フォロワー」論の限界
— Creative Work Team と役割複合態 — |
| 0 3 | 2026 年 11 月 26 日 (木) 19:00 ~ 20:30
価値創造パラダイムの転換
— 3 つの原理が交差する場 — | 0 8 | 2027 年 4 月 15 日 (木) 19:00 ~ 20:30
新たな始まりの担い手たち
— 分散主体と協働知の新局面 — |
| 0 4 | 2026 年 12 月 17 日 (木) 19:00 ~ 20:30
「創発する」マーケティング
— 計画と散逸の二重スパイラル — | 0 9 | 2027 年 5 月 13 日 (木) 19:00 ~ 20:30
ブランドをめぐる Mode I と Mode II
— Branding as Worldmaking — |
| 0 5 | 2027 年 1 月 28 日 (木) 19:00 ~ 20:30
多様性とイノベーション
— 多様性なき対話、対話なき多様性を超えて — | 1 0 | 2027 年 6 月 17 日 (木) 19:00 ~ 20:30
「価値」と呼ばれているものは何なのか
— その提供・創造・共創を語る前に — |
| | | + | 2027 年 7 月 25 日 (木) 19:00 ~ 20:30
学的パラダイムの転回
— Some Postcards From Post-disciplinarity — |

講師

設楽 剛 (Go Shidara, Ph.D.)

設楽剛事務所 代表

慶應義塾大学 博士 (政策・メディア)

時代の基調変化を捉えつつ、人々が文明社会 (ビジネスはその一部) を見るときの記号群を示し、同時代および後の人々の判断・制作・行動の参照点となる知と方法を扱う。慶應義塾大学環境情報学部卒、同大学院修了後、シンクタンクにて構想・政策領域を担当。LINE の母体企業ハンゲームジャパン(株)の創設メンバー (初代 CMO 兼副社長) を経て、設楽剛事務所を設立。



会場 公益財団法人 国際文化会館

106-0032 東京都港区六本木 5-11-16

電話 : 03 - 3470 - 4611 URL : ihj.global

会場開催 (オンライン同時配信あり)

各回 90 分 | 途中回からの参加も可能です

各回は、レクチャーと参加者との対話を軸に進めます

参加費 12,000 円 (税込)

お問い合わせ・お申し込み

Email : info@archipelagos.jp

Web : <https://archipelagos.jp/post-business.html>